

地方史情報 142

2020年3月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	26	島根県	43
宮城県	3	福井県	27	岡山県	45
秋田県	4	長野県	27	広島県	46
山形県	7	岐阜県	31	山口県	47
福島県	7	静岡県	31	徳島県	48
群馬県	7	愛知県	32	愛媛県	49
埼玉県	9	滋賀県	34	福岡県	50
千葉県	9	京都府	35	佐賀県	51
東京都	10	大阪府	36	宮崎県	52
神奈川県	20	兵庫県	40	沖縄県	52
新潟県	25	和歌山県	42	寄贈図書	52

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834
年5000円

◇74 2019.8 B5 12p

第23回アイヌ語地名研究大会 盛会裡に終る

2019年度 定期総会終わる

地名「さつほろ」採録から350年—札幌の語源を考える

中野 克良

地名 tapkop の解釈

「アイヌ語地名研究21」を読ませてもらって

山下 栄光

『アイヌ語地名研究』22号 原稿募集 編集方針・発行方法が一部変

更になりました

新刊案内『自然の恵み アイヌのごはん』 監修：藤村久和

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇375 2019.9 A4 8p

“ヌマタナガスクジラ”北海道からデビュー 沼田町化石体験館 田中 嘉寛

道内文化財めぐり 室蘭の歴史と文化財を訪ねて

出前授業 黒松内の大地と化石のつながり

国指定文化財の追加指定

特別天然記念物 野幌原始林／史跡 キウス周堤墓群

登録有形文化財(建造物)の答申 函館公園こどものくに 空中観覧車

／網走市立郷土博物館 本館・新館／大野家住宅主屋(旧大野組事

務所兼主屋)／幌泉灯台記念塔

ちゃらんぼらん人生の遺言状

原 一夫

シリーズ・伝える 馬産地回復 静内農業高校生が受け継ぐ

橋本 阿紀

寒冷地稲作 「赤毛」ことはじめ

畠 誠

文化財 NOW(1) 文化財を守る、保護していく

身近な歴史・文化に学ぶ

博物館ひろば 島の資料・標本を次世代へ 利尻町立博物館

佐藤 雅彦

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<http://hoppohm.org>

◇114 2019.9 A4 6p

第34回特別展 北欧サミの暮らしと工芸

笹倉いる美

ロビー展 北の渦巻き文様

笹倉いる美

講座 民族文様をめぐって

講師：丹菊逸治氏・中村和恵氏・笹倉いる美

笹倉いる美

講座 北海道博物館紀行 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

講師：森岡健治氏

野口 泰弥

講座 はじめてのアイヌ語 講師：関根健司氏

野口 泰弥

ロビー展 北方海獣園へようこそ 北の人びとと海の動物たち

中田 篤

講座 捕鯨文化論再考 講師：赤嶺淳氏

中田 篤

宮 城 県

◆市史せんだい 仙台市博物館

〒980-0862仙台市青葉区川内26 TEL022-225-3074 1992年創刊

<http://www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/>

◇29 2019.9 A5 128p

表紙写真解説 陸奥国分寺准貞胝観音堂(若林区木ノ下)

奥羽越列藩同盟における仙台藩士若生文十郎の周旋・応接・議事
仙台亜炭の遺香

史料紹介

伊達宗敦書状控

伊達政宗文書・補遺(13)

黒田 風花

栗原伸一郎

伊達 伸明

水野 沙織

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会

〒989-6156大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊

◇42 2019.9 B5 100p 1000円

讃歌 やっと芽がでてきましたね

讃歌 道鏡塚

二十首詠 下野薬師寺ファンタジー

道鏡講演会

奈良朝政争史からみた道鏡一悪いのは道鏡だけか?

語らいの部の質疑から(大要)

道鏡禅師供養祭

パネルシアター 原話「道鏡の雨降祈願」発掘者・吉野益太郎

道鏡供養祭に参加して

道鏡塚の句の反響

探訪旅行(宇佐・太宰府)

見学箇所若干の説明

ダブル弥次喜多道中こぼれ話

宇佐八幡宮、和気清麻呂

道鏡悪人説を考える試み

伝承考察 伝承の重要性

伝承考察 語り継ぐのは

伝承考察 刻まれた石が残されことは大事

神倉神社と胸形神社

毛塚 隆

船生 史郎

萩原 憲司

荊木 美行

須永 賢一

船生 史郎

萩原 憲司

田中 龍夫

森本 裕之

高橋 亮

鈴木 暁子

片岡 秀雄

茨城県かすみがうら市牛渡上高谷の道鏡様	倉石 忠彦
災害と伝承一大野村の洪水伝承の質問に答えながら	本田 義幾
田中正造と道鏡禪師—3.11による嘆きを考える時	森本 裕之
奈良豆比古神社考(道鏡伝承に関わって)	田村新太郎
伝承それから正史の裏付けを	高橋 義泰
飛鳥・岡寺に伝わる縁起読みくだし	田村新太郎
本来の薬師寺に改称の報に接し	萩原 憲司
下野薬師寺に於ける三つの点と線	足立 俊弘
百万塔陀羅尼が納められた事由	鈴木 暁子
長屋王が長屋親王のわけ	田中 龍夫
病気考	大塚泰二郎
本田氏の質問等に答えながら	田中 龍夫
史料から道鏡を見る	鈴木 暁子
日本語のはなし	和気 正芳
文字使用の始まり考	
追 悼	
篠原久良子さまを偲んで	萩原 憲司
内田さんを偲びながら	本田 義幾
佐伯眞登さんを悼む	平山 和昭
佐伯元村長さん	田村新太郎
お世話になりました	高橋 典子
夫・正芳がおせわになりました	和気三恵子
川島忠利氏、須藤祐孝氏	
往生…星…	本田 義幾
阿倍内親王(称徳)の苦悩と皇位継承	
—そして弓削道鏡を皇位後継者候補に	高橋 昭夫
宇佐神宮と卑弥呼	高橋 昭夫
卑弥呼と宇佐神宮比売大神	高橋 昭夫

秋 田 県

◆秋田近代史研究 秋田近代史研究会

〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1 柴田知彰方 TEL018-807-3290

1958年創刊 <http://www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm>

◇58 2019.9 B5 64p 1000円

巻頭言 創立60周年を迎えて

柴田 知彰

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322
年4000円 1974年創刊

◇127 2019.9 B5 4p

北前船をテーマとした研究会を終えて
総会報告

鎌田 幸男

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322
1996年創刊 <http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇71 2019.9 B5 28p

表紙 脇本城跡(男鹿市) (写真撮影・編集部)

特集 春の歴史フォーラム 秋田の城跡 I

海を見下ろす中世城館 脇本城

伊藤 直子

発掘調査からみる久保田城

山村 剛

用語解説 分限帳(2)

半田 和彦

歴史情報 戊辰戦争の記録をたどる(葉隠墓苑慰霊碑)(2)

谷内 征美

シリーズ加入団体紹介(2) 秋田近代史研究会

秋田近代史研究会の軌跡と課題

柴田 知彰

文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊

◇78 2019.9 A5 103p 2000円

ひでこ節考

小田島清朗

雷の名字

稲 雄次

「北海道・北東北縄文遺跡群」の世界遺産登録推進に寄せて

神宮 滋

八戸市・新井田川漁業協同組合の歴史一組合長・山村久次郎のこと

松橋 由雄

進藤貞吉著『道中記』(9)

解説・翻刻・注記・編集 相馬登

我が村の歴史 第九号 深澤多市著 翻刻

森本 彌吉

百家風発

「解体新書」附図跋文は直武の自作か?

加藤慎一郎

本堂城主の奥方の手箱

森本 彌吉

書 評

神田より子著『鳥海山修験一山麓の信仰と生活』の刊行に寄せて

神宮 滋

山形県

◆山形史学研究 山形史学研究会

〒990-0021山形市小白川町1-4-12

山形大学地域教育文化学部 歴史学研究室内

◇47 2019.8 A5 72p

日記・記録はおもしろい

- ーガンの記録は珍しい「善照寺玄定住職」報告書 大喜 直彦
寛永十三年慈恩寺鐘名銘一件をめぐる 大宮 富善
延享三年出羽国村山郡御料所巡見に関する一考察
ー米沢藩と預所村々の対応から 宮田 直樹
「酒田日満学校」について 三原 容子
史料紹介 文政初頭の伊勢・金毘羅参り旅日記 保科 文俊
'18年度 山形史学研究会大会報告
資料保存に関する行政への要望運動報告 「山形県公文書等の保存・
管理・利用に関する要望」「霞城公園整備計画の具体的設計に当た
っての要望」

福島県

◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊

<http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇10 2019.9 A4 4p

令和元年度総会報告

令和元年度公開講演会報告

- 「初市・互市・定期市ー南東北の市と商人ー」山本志乃氏 大里 正樹
研修発表会報告 大山孝正氏「福島県の馬喰(ばくろう)」、渡部憲一
氏「昭和から平成へー子どもの頃の記録を読む」 大里 正樹
noteから 広野町指定文化財「太田農神社本殿彫刻」について 丹野香須美
Column 二本松の太鼓台と渡辺右近 相原 達郎

群馬県

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇97 2019.8 B5 4p

銅(山)街道 大間々から渡良瀬川上流へ地名散策
かいしょ地名について

茂木 晃
井野 修二

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<http://blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/>

◇337 2019.8 A5 90p

新田姓と岩松一族の家の抗争

久保田順一

於神(ウヘノカミ)に関する一考察

神保 侑史

研究大会 平成30年度研究大会「災害と暮らしⅡ」

基調講演 歴史地震への取り組みと地震史料

佐藤 孝之

研究発表

弘仁地震と泥流災害一郡家と災害、復興

出浦 崇

水場に生きる

宮田裕紀枝

昭和二十二(一九四七)年九月カスリン台風と赤城山南麓

一大胡町を中心として

鹿田 雄三

参加報告

長谷川明則/佐藤有

ぐんま絹遺産紹介 第11回

(20) 旧上毛モスリン事務所(群馬県指定重要文化財)(館林市)

田沼 美樹

(21) 旧黒澤家住宅(重要文化財)(上野村)

今井 博之

新刊紹介

「ぐんまの自然と災害」編集委員会編『群馬の自然と災害』

町田 悟

加能地域史研究会・群馬県歴史民俗研究会編『地域・交流・暮らし

加賀・能登、そして上州』

大野 秀彰

佐藤孝之著『近世駆込寺と紛争解決』

藤井 茂樹

口絵 群馬県立歴史博物館蔵品資料(138)

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町2529-1 永島政彦方 1979年創刊

◇159 2019.9 B5 4p

前橋市東上野町公民館所蔵文書整理・保存の取り組み

野口 華世

不完全に遺存する群馬の中世石塔の二事例

四方田 悟

第38回講演会記事 西村敏也氏「武州三峰山の歴史と信仰—オイヌサ

マ信仰を中心に」

挨拶 会長就任の挨拶

永島 政彦

埼玉県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセンター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊

<http://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

◇76 2019.8 A5 56p

吉本富男先生のご逝去を悼む 田代 脩

荒川中流域における渡船場の運営について

一足立郡下大久保村羽根倉渡船場を中心に 井上 拓巳

明治元年武蔵一宮氷川神社行幸の実施過程 重田 正夫

古代埼玉郡と水運 森田 悌

書評／動向

工藤航平著・古畑侑亮評『近世蔵書文化論 地域〈知〉の形成と社会』書評会

太田 富康

秩父歴史文化研究会の活動と『鉢形領内に遺された戦国史料集第一集』について

新井 克彦

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇210 (通517) 2019.9 A4 12p

我孫子の社寺を訪ねる(37) 中峠地区(9) 南命山龍泉寺 飯白 和子

中峠・龍泉寺の田中海量住職から下記書物をご寄贈いただきましたのでご紹介します。『十三仏の世界—追善供養の歴史・思想・文化』

飯白 和子

7月度歴史部会の報告 第42回研究講座

テーマ「明治11年(1878)竹橋事件」谷田部隆博会員

逆井 萬吉

古文書解読火曜部会アンケートの結果

東 日出夫

土浦ボランティアガイドよりの礼状

近江 礼子

◇211 (通518) 2019.10 A4 14p

2019市民のチカラまつり 市民のチカラまつり報告 脇 明子

下総国府・市川(古代～中世)を訪ねる

一企画展「外環自動車道の発掘成果」見学

市川市の博物館に感激

若月 慎爾

「下総国府・市川を訪ねる」に参加して

武井 勲

歴史探訪部会 9月の活動報告 下総国府・市川

長谷川秀也

古代史研究G 9月の活動報告

9月のテーマ：各テキストから見た古代市川・船橋の様相を学ぶ

池田 隆信

古文書解読火曜部会 9月度の活動報告

萩原 正美

井上家文書研究部会 9月の活動報告

品田 制子

合同部会 9月の活動報告

中澤 雅夫

古文書解読日曜部会 9月の活動報告

中村 千由

久安家鷲神社の境内社・八坂神社の夏祭(祇園祭)

近江 礼子

事務局便り 青山フェニックスクラブ講演会報告「嘉納治五郎と我

孫子」講師：美崎大洋 我孫子の文化を守る会会長

岡本 和男

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇23 2019.9 A4 12p

志津の地名について(12)

田中 征志

地名の成り立ち 必然で不思議

瀬田貴久子

佐倉の地名コーナー 樹木町(じゅもくまち)

本間 勝善

新元号「令和」雑感

松平喜美代／伊藤清

令和の時代を迎えて

山部 紘

四国歩き遍路(前)

平田恭一郎

「天保水滸伝の世界」平手造酒の生涯をみる(2)

千々和 巖

東京都

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇619 2019.9 A4 4p

建具職人・父新倉盛吉の足跡

新倉 猛

行政文書に見る足立区の水害記録(7)

山崎 尚之

はい、文化財係です。(13)

続・救われた江戸時代の道しるべ

佐藤 貴浩

◇620 2019.10 A4 4p

資料のデジタル化について
行政文書に見る足立区の水害記録(8)
はい、文化財係です。(14) 光茶釜

奥村麻由美
山崎 尚之
佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇378 2019.9 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメリカ教育使節団勧告書 要旨(2) 初等・中等教育行政(承前) 編・堀川和夫
区民研究発表会 竹内秀夫氏「小林一茶の足跡を追って」、知念哲夫氏「教室俳句の楽しみ」、中嶋喜文氏「千住文化普及会の研鑽資料」、土田秀夫氏「伊興七服紙を学ぶ」、相川謹之助氏「芭蕉涅槃図の絵解き」

北足立市場見学・9月

近松の人たちについて

小島 和

学童疎開資料展 アンケート 8月5日～9日・足立区役所

◇379 2019.10 A4 8p

東京文化財ウィーク2019

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメリカ教育使節団勧告書 要旨(3) 編・堀川和夫
新井大師 総持寺山門修理

花火大会に思う

唐沢 邦子

学童疎開資料展アンケート(1) 8月5日～9月足立区役所 アンケート

63枚内感想文43通 面会に来てくれるのが唯一の楽しみでした

中間報告 近松松次郎墓(密蔵院・沼袋)

「変身」(「涯」1号 S44.8)、「変身 その二」(「涯」No2 44.12)、「変身 その三」(「涯」No3 45.4) 牧野三郎(安藤義雄)執筆
救われた道しるべ?

矢沢幸一郎

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇129 2019.9 A4 8p

表紙 改元を考える その弐 改元に従わない人びと

正長3年銘板碑(本町・安養寺蔵)

改元を考える その式 改元に従わない人びと 最近の発掘調査	深澤 靖幸
国衙の西側に大型掘立柱建物跡を発見 本町一丁目	野田憲一郎
NOTE 多摩川・過去～現在の水族事情	中村 武史
府中の身近な昆虫絵巻(6) 大丸の河原のバッタ・オーライ	中村 武史
展示会案内 企画展 ちょっとむかしのくらし～その4	佐藤 智敬
平成史に残る天文・宇宙イベント(2)	
月と太陽の天体ショー！金環日食	上野アイ子

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682

1966年創刊 <http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/>

◇301 2019.8 B5 35p

表紙写真解説 湯花神楽 氷川神社（板橋区蓮沼町四八番四号）

写真と文・井上富夫

会長就任にあたって一地道な作業の繰り返しから

松崎 憲三

会長退任にあたって

小林 保男

緑のカーテン(2)一小学校から地域へ

松浦 勉

写真探訪板橋の地名(15) ごんげん坂・権現橋

大澤 鷹邇

地域図書紹介 井上富夫著『いたばし平成風物語 祭り・伝統・風景』

—『板橋史談』表紙写真などから

大澤 鷹邇

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇429 2019.9 B5 22p

奥武蔵フロンティアスピリッツ

小泉 重光

風景印で楽しむ秩父・奥武蔵

野口 実

山徒然(7)

関口 洋介

2018年 奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難

町田 尚夫

◆北区史を考える会会報

〒115-0052北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇134 2019.8 B5 10p

第438回 月例研究会

「太田道灌状」をよむ 長尾景春の乱と豊島氏

伊藤 一美

第437回 月例研究会 請願駅だった東十条駅(旧下十条駅)

有馬 純雄

第439回 月例研究会

北区教育委員会委員の役割と地球環境に優しい金属加工技術 檜垣 昌子

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇215 2019.9 A4 8p

催事スケッチ 二本松の提灯祭り

するすると小提灯を伸ばし秋の夜空に遊ばせる 写真・文 渡辺良正

儀礼文化研究会 令和元年第1回報告

梯子獅子の民俗学的考察—愛知県知多・朝倉地区の伝承を中心に

発表者：牧野由佳

近世、武州三峰山の一山組織の考察—経済基盤としての神領と信

仰圈に注目して 発表者：川田大晶

特集 「特殊神饌」にみるサトイモ

吉川 雅章

会員を訪ねる 生田神社／西宮神社

レポート

儀礼文化講座(令和元年第1回)

香道 「香道の愉しみ」 講師：三條西堯水

儀礼文化講座(令和元年第2回)

競技 『『空手道』歴史と体系』 講師：浅谷耕一

儀礼文化セミナー(令和元年第1回)

神道 「正式参拝、青袖祭拜見」

栗田恵津子

◆ケガレと銅鐸通信 ふたつの謎の解明について 木村成生

〒197-0023福生市志茂113-2 TEL042-551-2768 2017年創刊

<http://rakkodou.cside.com>

◇11 2018.10 A4 7p

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』を読み直す(3)

「神人は黄衣を着けていますし、」—なぜ黄色、柿色なのか 木村 成生

新聞からラジオから 土俵祭り 木村 成生

◆現在学研究 現代学研究会

〒145-0072大田区田園調布本町16-12-101 高久舞方 2018年創刊

◇3 2019.9 A5 74p

鳶と芸能：埼玉県越谷市の鳶を事例に 市東 真一

韓国の時間感覚 5年後 倉石 美都

東京生活史：ある女性と家族の生活を記録する	高久 舞
風景の中の道祖神	倉石 忠彦
書誌紹介 『에로틱 조선 (日本題 エロティック 朝鮮)』	パク・ヨン
ギョ著 ウンジン知識ハウス	倉石 美都

◆交通史研究 交通史学会 (発売：吉川弘文館)

〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科
鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇95 2019.9 A5 112p 2500円

交通史学会第45回大会報告 大会概要／自由論題報告

大会講演録 交通革命と明治維新

小風 秀雅

大会発表要旨(自由論題)

日雇頭から通日雇請負商人へ

市川 寛明

琉球人来聘人馬役一近江・美濃・三河を中心に

飯沼 雅行

近世柏原宿における橋梁維持体制の成立過程

松浦 智博

東海道品川宿の石積護岸一近年の発掘成果から

寺門 雄一

東廻り航路の城米浦役人と城米輸送体制

井上 拓巳

一九世紀前半のライン河輸送における曳船

一畜力曳船の発展とその意義

田中 淳一

一九世紀アメリカの交通政策とパナマ地峡鉄道

一対外膨張主義の嚆矢として

宗像 俊輔

討論要旨

文責・市川寛明

総会報告

常任委員会(文責・下向井紀彦)

巡見報告

常任委員会(文責・寺門雄一)

紀元二六〇〇年における奈良県の「聖地」参拝者像

菅沼 明正

一九世紀前半のライン河輸送における曳船

一畜力曳船の発展とその意義

田中 淳一

十字路 名古屋から全米へ渡った陶磁器一森村組の事例から

今給黎佳菜

新刊案内

徳仁親王著『水運史から世界の水へ』

山本 光正

榎原雅治著『中世の東海道をゆく』

大寫 聖子

岡陽一郎著『大道 鎌倉時代の幹線道路』

大寫 聖子

胡桃沢勘司著『押送船』

下向井紀彦

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内

TEL03-3329-1151

◇101 2019.9 A5 50p

日本中世史学におけるヨーロッパ認識の第三の「地平」

—「中世『ローマ』帝国」論の歴史的位置に関する試論 鈴木 國弘
中村彌六『布引丸事件秘録』再考—『昭和三年版』を中心に 円谷裕美子
肥後和男の思想的背景—和辻哲郎を中心に 中村 紀博
書評 町田祐一『近代都市の下層社会—東京の職業紹介所をめぐる人々』 土屋 好古

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館

〒140-0014品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060 1986年創刊

◇34 2019.9 B5 76+30p

口絵 品川歴史館の一年／館蔵資料一覧

新時代に向けた品川歴史館 鈴木 章生
勤王僧の人的ネットワークと情報収集—平松理準の活動から 佐藤 友理
史料紹介

〔江戸湾品川沖御台場御普請絵図〕

東京都指定文化財 妙国寺文書「(公用附留帖)」 鈴木三美子

元品川区立品川歴史館館長 佐藤成順氏との思い出 富川 武史

品川歴史館 平成29年度・30年度事業報告

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇277 2019.9 A4 10p 400円

江戸近郊紀行家 殊に杉並路を好んだ村尾正靖 木村 輝郎

とげぬき地藏から染井霊園を訪ねる 服部 建人

新選組は「撰」か「選」の何か 寺田 格郎

近衛家熙展 開催

私の本棚から(56) 東京23区立博物館—辛口批評 干場辰夫著 新村 康敏

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇248 2019.9 B5 27p

諏訪大社御柱祭の騎馬行列 進藤加世子

神津島の流人塚	大島 建彦
富山県魚津市古鹿熊における猫の民俗	森 俊
埼玉県比企地域における防鬼と七鬼信仰	玉木 讓
川崎市宮前区馬絹の泉福寺—花供養を中心に	清水 亨桐
翻刻と解題 『下野國岩船山高勝寺全圖』記載『岩船山略縁起』	林 京子

◆世間話研究 世間話研究会（発売：岩田書院）

〒150-8440渋谷区東4-10-28 國學院大學 若木タワー15F 1509研究室

飯倉義之方 1989年創刊 <https://sekenbanashi.wordpress.com>

◇27 2019.8 A5 120p 1000円

「きさらぎ駅」今昔—スマホサイズ化されるネットロア	伊藤 龍平
いわゆる〈ラッシュ〉と呼ばれる薬物をめぐる言説分析	
—「指定薬物」への「名付け」とイメージの変容	根岸 英之
戦時の件(クダン)の語る訳—戦時流言に関する一考察	笹方 政紀
「異世界はエレベータとともに。」 YouTuber の都市伝説	永島 大輝
資料紹介 雑誌『世界の秘境シリーズ』記事目録(2)	
—第31～第60集	大道 晴香
長野晃子先生追悼	
長野さんと世間話研究会と	伊藤 龍平
「普遍的なもの」を求めて	山田 巖子
呼びかけ	小池 淳一
長野晃子先生の思い出	齊藤 純
世間話研究会の日々と長野晃子さん	重信 幸彦

◆戦国史研究 戦国史研究会（発売：吉川弘文館）

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇78 2019.8 A5 52p 649円

戦国末期の阿波守護家細川真之の動向と諸勢力	山下 知之
豊臣期の能島村上氏—海賊衆の変質	大上 幹広
羅針盤	
今川氏対三河吉良氏再考	大石 泰史
足利義輝殺害前の三好義継	馬部 隆弘
『壁蔵遺珠』所収の丹羽長秀文書	功刀 俊宏
戦国史関係論文目録(平成30年7月～12月)	

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/>

◇334 2019.9 A4 2p 100円

秋の物売りと大道芸 中秋の名月／二十三夜

◇334号外 2019.9 A4 1p 100円

深川江戸資料館主催 江戸の物売りと大道芸 9月28日(土)

◇335 2019.10 A4 2p 100円

第十二回 江戸の物売りと大道芸 盛況裡に終了

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatischen.web.fc2.com>

◇137 2019.9 B5 28p

第104回例会報告

縄文時代の陥し穴から分かること

中西 充

多摩地域の弥生時代

一 炉の多様性から見えてくるもの(石床炉の研究)

及川 良彦

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<http://www.tamashin.or.jp>

◇175 2019.8 A5 114p

グラビア 武蔵野台地をゆく玉川上水

《特集 多摩の散歩道2—地形を味わう》

スリバチ・多摩武蔵野の地形とは 歩いて感じる湧水のまち、八王子

真貝 康之

摩訶不思議な窪地の里・小平

皆川 典久

武蔵野台地の微地形を楽しむ

—中央線沿線・小金井～吉祥寺の凹凸地形散歩

西井 章

「仙川・つつじヶ丘」凹凸まち歩きへの誘い

和田 文雄

あなたの知らない鎌倉街道

荻窪 圭

鶴川から玉川学園、ひと駅歩き—郊外住宅地に残る里山を辿る

浅黄 美彦

武蔵野の俳を探して埼玉を歩く

吉村 忠

洋風建築への誘い(64)

明治のたてもの調査同行記—日本獣医生命科学大学 武蔵野市

伊藤 龍也

- 建物雑想記(59) 人見街道「おもだか」 酒井 哲
- 古文書は語る(52) 家庭内の不行跡者への対応—平家文書「久離帳外願書」「久離人婦村婦帳願書」より 馬場 憲一
- 多摩の金融史(10) 西多摩郡における産業組合の展開(二) 小島 庸平
- 多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の風景 2
- 玉川上水を赤色立体地図を見ながら歩く 千葉 達朗
- 本の紹介
- 青梅の図書館を考える会編『青梅 図書館のあゆみ70年—リヤカーから駅前図書館まで』 堀 渡
- 久野マリ子編著『新 東京都言語地図—平成初期の東京のことば』 島田 泰子
- 羽村古文書研究会編『羽村古文書研究会創立十周年記念 島田家文書解説文』 山田 義高

◆伝え 日本口承文芸学会

〒168-8508杉並区大宮2-19-1 高千穂大学 立石展大研究室

TEL03-3317-4077 年4000円 1987年創刊 ko-sho.org

◇65 2019.9 B5 12p

- 学問と学会の継承 立石 展大
- 追悼 飯倉照平先生を偲んで 木之内 誠
- 第76回日本口承文芸学会 例会報告
- シンポジウム：災害の中の日常 北村 規子
- 第43回日本口承文芸学会大会・報告
- 公開講演
- 波照間永吉氏「口承文芸としての琉球歌謡とその文字記録化」 真下 厚
- 福田晃氏「『南島説話大成』の可能性—四十五年のフィールド調査の中で」 松本 孝三
- 研究発表報告
- 第一会場前半 大島万由子氏「学校の怪談と社会状況—昭和期と平成期の比較を中心に」、富樫晃氏「八百比丘尼伝説の成立について—江戸初期の若狭小浜を中心に」、西座理恵氏「外れない肉付き面のモチーフ—酒呑童子の伝説を中心に」 佐藤 優
- 第一会場後半 三田加奈子氏「『鬼三太残齡記』とその周辺—『清悦物語』と比較して」、永島大輝氏「馬の首が飛ぶ日についての一考察」、菊地暁氏「文化資源としての〈こども風土記〉—『北白川こども風土記』(1959)を中心に」 飯倉 義之
- 第二会場前半 ウメトパエワ・カリマン氏「アクソ技芸の音楽構

造の分析—新資料から見直すクルグズとカザフスタンの語り物
(Oral Narrative)」、澤井真代氏「『おもろさうし』の「つゝ」、
鶴野祐介氏「ろう学校における手話を用いた民話絵本の読み語
り活動—説話伝説とダイバーシティ」 間宮 史子
第二会場後半 北原モコットナウシ次郎太氏「アイヌの感生説話
—アイヌ社会におけるジェンダー認識形成との関わりを考える」、
奥田統己氏「アイヌ語の韻律の技法と類型」 三浦 佑之
シンポジウム
危機言語の口承文芸—沖縄・奄美・アイヌの伝承と記録 繁原 央

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇138 2019.9 A4 6p

報告 研究会「ドイツの鉄道博物館をめぐる」 文・写真 吉田修

訃報 田中穂積会員が死去

産業遺産を訪ねて(22) 旭化成のペンベルグミュージアム

—化学メーカーの製品展示資料室 平井 東幸

新刊紹介 『産業遺産巡礼〈日本編〉』 市原猛志著 文・写真 奥原一三

文献紹介 『図説 近代日本土木史』 土木学会土木史研究委員会編 多田 統一
トピックス 屋上遊園地の小型観覧車が国内ではとうとう一基に

文・写真 柚須紘一

八木会長のブログ「全国赤煉瓦番付」 奥原 一三

文献紹介 『東京カイシャハッケン伝』 東京都産業労働局雇用就業部

就業推進課編集・発行

茨城県坂東市の赤煉瓦建築物「反町開門(そりまちこうもん)」(2)

文・写真 八木司郎

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇125 2019.8 B5 4p

第127回例会 「江戸東京の水辺の風景を楽しむ—広重の描いた『名所

江戸百景』から」

西島 幸夫

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇105 2019.9 A4 6p

東京文化財ウィーク2019 史蹟名勝天然記念物保存法施行100年記念
事業 「三宝寺池沼沢植物群落」の魅力

公開している国指定・登録、都指定の文化財 練馬白山神社の大ケヤ
キ(国指定天然記念物)／三宝寺池沼沢植物群落(国指定天然記念物)
／牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)(国登録記念物)／石神井城跡(都
指定史跡)／小野蘭山墓及び墓誌(都指定有形文化財)／池永道雲墓(都
指定旧跡)／東高野山奥之院(都指定史跡)／丸山東遺跡方形周溝墓
出土品(都指定有形文化財)

文化財保護行政節目の年 「記念物」保護制度創設百年

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011文京区千石2-42-7 田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 <http://www.yuubinshi.sakura.ne.jp>

◇48 2019.9 B5 54p 2000円

没後100年 前島密の足跡

井上 卓朗

「会計」で見る戦後の郵便事業(3)

郵政事業の長期ファイナンスと経営

藤本 栄助

資料紹介

関東大震災のエンタエア

米倉 正裕

満洲国郵政の標語印

田中 寛

旧刊紹介(22) 『通信時局讀本』

鈴木 克彦

郵政博物館収蔵 国際年賀状を鑑賞する

星名 定雄

近刊紹介

米倉正裕 北海道150年の写真記録—絵葉書・古写真・古地図でよ

みがえる懐旧の時代—

近辻 喜一

郵政歴史文化研究会編 郵政博物館研究紀要 平成30年度 第10号

山崎好是 平成切手カタログ タンブルポスト増刊85号

山川 一郎

神奈川 県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇21 2019.9 A4 4p

歴史の波頭を求めて―「愛甲の古代を探る」を聞く

鈴木 靖民

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100

1959年創刊

◇126 2019.8 A5 113p 1500円

栄西と鎌倉幕府―『吾妻鏡』に記載された栄西の分析

永井 晋

鎌倉大仏追考

塩澤 寛樹

『東関紀行』注釈(「由比の浦といふ所に…」)並びに鎌倉時代の「由比

ガ浜」と「由比の浦」大仏・襦袢記

鈴木 良昭

『亀谷山記録』(19)

鎌倉古文書研究会

『鹿山公私諸般留帳』(51)

三淵美恵子

神奈川の窓(43)(44)―「地方史研究」から

井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊

◇69 2019.9 A4 2p

「学校に行かなくてもいいよ」の続き

多和田真理子

47ニュース「住井すゑ」を読んで

(前田)

◇70 2019.10 A4 2p

みんなの居場所 ふらっとカフェ鎌倉を立ち上げて

渡邊 公子

『時代を拓いた女たち 第三集』かながわの112人 神奈川新聞社刊

江刺昭子+かながわ女性史研究会編著 2019.7刊

(曾原)

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇158 2019.8 B5 6p

三遠信美流れの結節点―限界の山村暮らしから(6) 小馬寺考―小馬寺

の信仰が衰退した経緯を1950年代以降の生業体系の変化から読む 西海 賢二

◆寒川文書館だより

〒253-0106高座郡寒川町宮山135-1 TEL0467-75-3691 2007年創刊

<http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

◇26 2019.9 A4 8p

資料紹介 『寒川弘報』創刊号(真田耿子氏所蔵) 鳥養 圭美
茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 寒川文書館第29回企画展「広報さむ
かわの70年」

皆川邦直家文書が寄贈／寒川高校インターンシップ
文書館運営審議委員を委嘱／審議会委員を務めて(西山悦子)
古文書講座「代替わりの史料を読む」／総合計画ワークショップの出
講／全史料協会長事務局
文書館 最近のできごと エキヒュームによる燻蒸／インターネット
ラジオ出演／体験ツアー／広域講演会

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付(吉田律人・西村健)
TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇85 2019.8 B5 4p

研究例会 第113回例会 シンポジウム「地域資料から近現代史を描くー北総地域の事例からー」中澤恵子「日記から見る地域の生活」、矢嶋毅之「狩野揆一郎の政治活動ー明治20年代前半を中心に」、須賀隆章「『旧佐倉町の祭礼用具』からみる近現代の佐倉と地域文化財の保存・活用について」、コメント 堀野周平・宮間純一、司会 土佐博文・長谷川佳澄／次回の研究例会 第114回例会

情報ネットワーク 展示会情報

小研究会の活動状況 首都西郊研究会、首都圏災害史研究会、マイク
ロヒストリー研究会

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊
<http://shounankouko.jimbo.com>

◇156 2019.8 B5 24p

伝統的な町並みとの出会い 須田 英一
東海西部における北白川下層Ⅱc式・芦戸式の再検討 佐藤 亮太
心の考古学まで(17) 東国の初期寺院と奈良(飛鳥)との関係
ー記紀との接点を求めて 古要祐慶／追記・寺田兼方
古要氏の急逝を惜しむ 寺田 兼方
稲荷台地の池ノ辺遺跡の見学 伊藤 郭
平成31年3月17日

臨時例会「第2回 市内の史跡探訪一渡内・村岡地区」 堀場 良一

「第13回若手研究者を囲む勉強会」に参加して	平野 和子
藤沢市の「大庭城発掘調査報告書」刊行と記念講演会開催等の努力を	
高く評価する(2)―出色の講演会内容の紹介と私見	米 諄
2019年度 湘南考古学同好会 定例総会の記録	須田 英一
第34回「江の島モース祭」に参加して	高野 麗
第34回モース祭記念講演録「江の島の遺跡とモース―モース祭に添えて」	寺田 兼方

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階
TEL044-812-1106 1993年創刊 <http://chimei.people.co.jp>

◇94 2019.8 B5 8p

地名研究へのこころざし―就任のご挨拶にかえて	金田 久璋
次世代に繋ぐ試み 第三八回全国地名研究者遠野大会	
特集 第三代所長関和彦氏を偲ぶ	
風土記の縁	相澤 一男
関和彦先生に感謝の気持ちを伝えたい	吉田 治
関和彦先生の霊前に捧ぐ	原 董
関和彦所長の死を悼む	説田 武紀
関先生のお姿	渋谷とめ子
日本地名研究所所長・関和彦氏を悼む	藤野芳太郎
理事 鈴木富雄さん死去	

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円
1977年創刊 <http://www.sekibutukyokai.jp>

◇168 2019.8 A5 64p 2000円

表紙 荒海に祈る十六羅漢 山形県飽海郡遊佐町吹浦	写真と文・新井るい子
巻頭随想 令和・新時代をむかえて思うこと	坂口 和子
《特集 石仏探訪17》	
2019千支の猪石像を訪ねて	長島 誠
榛名・相馬山の三神と雨乞い信仰	田中 英雄
「地藏菩薩と法華経」多久市内石仏調査より	藤井 伸幸
長野・愛知県境の亡霊塔 怨霊信仰と供養の形を探る	下平 武
秋田県湯沢市とその周辺地域の鹿島さまと石造仁王像	高野 幸司
盗難被害に遭う肥前狛犬	永渕 秀治

但馬・山本弥左衛門の日本廻国巡拝	殿南 直也
宮亀年こぼれ話1 孝女茂世	嘉津山 清
コラム 浅間社の霊符尊神 (群馬県板倉町板倉・個人宅)	中森 勝之
誌上講座	
石仏入門(22) 己巳待塔	門間 勇
名号塔の知識(33) 武蔵の名号板碑	岡村 庄造
会員の広場	
続・貞治仏調査	新井るい子
辻立神と二つ目の万治の石仏	三代川千恵子
仏岩宝篋印塔	大久保 修
滝観音堂の秩父三十四観音	遠藤 康子
牛 佛	水野 英世
展示室の石仏	岡田 均
第121回石仏見学会報告 東京都江戸川区 篠崎街道と御番所の史跡 と石造物巡り (本文・写真 藤由美氏配布資料より)	
日本石仏協会主催 一泊見学会報告	
利根の名峰武蔵山麓(川場村)の石仏たち	吉田 信吉
第122回石仏見学会報告 埼玉県戸田市 戸田市の石仏巡り (本文・ 写真 吉田信吉氏配布資料より)	

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/>

◇65 2019.9 A5 120p 500円

間中喜雄先生を語る	岸 達志
小田原藩領今井村の仕法と金次郎	尾上 武
野中兼山の娘「婉」	今川 徳子
投票立会人のお仕事	宮原 詢二
境の明神に行って	下田 勝也
続・ボクの映画館(19) ボブ・ホープの「腰抜け二丁拳銃」	
「バッテンボー(ポテンとリボン)の思い出」	平倉 正
川崎長太郎との対話 「小説 川崎長太郎日誌」のあとがきにかえて	芳賀喜久雄
随筆 二度の初対面	芳賀喜久雄
真言の人・空海(10)	茂木 光春
『扣之帳』総目次 (第1号～第65号)	

◆民具マンスリー 神奈川県大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇618 (52-6) 2019.9 A5 24p 350円

小荒井豊山筆「製鋸図」と会津の鋸鍛冶 内山 大介

天野武の民具研究—シリーズ 民具と出会う(8) 鈴木通大／浜野達也

鳥取県北栄町主催「明治一五〇年 民具資料のお別れ展示」と民具の

「除籍(廃棄)」について(1) 樫村 賢二

民具短信 黒船来航を伝える農具 大里 正樹

◇619 (52-7) 2019.10 A5 24p 350円

二神家旧蔵襖絵について 久下実／豊田渉

カゼガワタル考—箱根ヶ崎獅子舞の言葉と物、そして音 川崎 瑞穂

新潟県

◆頸城文化 上越郷土研究会

〒942-0081上越市五智6-1-11 花ヶ前盛明方 TEL025-543-4354 1952年創刊

◇67 2019.9 A5 128p

大嘗祭の成立過程・追記 弥生時代後期の祭祀場・伊勢遺跡の紹介 鰐渕 好輝

天津神社・奴奈川神社の文化財について

石造文化財・石舞台と楽屋を中心に 土田 孝雄

今御前のははと即生房は親鸞の使用人 太田 空資

千貫門跡近くの石碑にある「上杉小彌入道」について 岡田 清

越後最大のミステリーか？

「越後統一」に秘された上杉謙信の隠退劇の絶世の美女「妙徳院」 石田 哲彌

頸城地方と真田氏との関係 吉田 昇

石仏の修験彫刻調査「未知の石彫刻を活用した、調査法の考案」例

(4)・江口の裸行上人墓(上越市中郷区江口) 妙高信仰史の深堀と、

お宝の発掘 吉川 繁

十日町市(旧東頸城郡松代町)の山城 花ヶ前盛明

上越歴史散歩(4) 新潟日報カルチャースクール上越教室

名立崩れ・名立機雷爆発事件 山田 宏

浄興寺 杵渕トヨ子／関谷サト子／細川康子／加藤浩二

日枝神社 鈴木マリ子／加藤浩二

熊生白山神社 関谷サト子／加藤浩二

宮口古墳群 加藤 浩二

居多神社と松平忠輝
親鸞聖人と越後七不思議
釜蓋遺跡ガイドンス
加賀街道の松
大鹿神社
大鹿たばこ
日本の国石、翡翠

花ヶ前盛明
花ヶ前盛明
加藤 浩二
花ヶ前盛明
古川 猛
古川 猛
古川 猛

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武則方 TEL025-231-6100

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇413 2019.8 A5 50p

羽下大化と小林存(1)

岩野 笙子

越後にゆかりある方々が県域内で確認・記録に残した野兎の呼び名

(異名・特殊名)一野兎の異名・特殊名(11)

天野 武

『増補越後名寄』と秦檜丸

鶴巻 武則

佐渡のサキオリ調査の課題

柳平 則子

「質問 地震とオカネ様」大竹信雄氏の回答

金田 文男

表紙写真 タマ公像 羽下大化作 愛宕小学校(旧村松町)(岩野笙子
撮影)

富 山 県

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円

1974年創刊

◇92 2019.9 A5 24p

新潟県におけるヌルデの民俗

三国 信一

川と海から見た立山信仰

福江 充

富山県魚津市古鹿熊民俗抄(四)一雪と生活

森 俊

富山県南砺市(旧福光町)旧刀利村の祭り

加藤 享子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊

◇58 2019.8 A4 8p

南無仏の祭り
「神通川稀有氾濫」碑と柱還山回向寺
越知山別山神社の石塔
第58回例会「高岡市の石仏めぐり」報告
今秋発行予定『北陸石仏の会研究紀要』12号の御案内

尾田 武雄
平井 一雄
滝本やすし
松井 兵英
尾田 武雄

◆北陸石仏の会研究紀要

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1996年創刊

◇12 2019.9 A4 75p

妙成寺(羽咋市)の笏谷石製多層塔と笠塔婆
手向神社と末社の石仏
『金沢市の地藏尊』補遺
富山の力石(2)
兵隊地藏
立山信仰遺跡と石仏
大久保の方丈塚と佐羅陀山長慶寺の変遷

三井 紀生
滝本やすし
清水 邦彦
高島 慎助
尾田 武雄
佐藤 武彦
平井 一雄

福 井 県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊

◇308 (64-1) 2019.8 B5 76p

西野次郎兵衛家文書の「本陣等間取図」の年代
史料紹介 越前国敦賀郡樫曲村の「奥野家文書」について

国京 克巳

長谷川裕子／奥野信一
大道寺繁郷『結城亀鑑』一寛延三年～宝暦八年・附録
「南越雑話」(4)一翻刻と現代語訳
福井県における郷土史研究の動向一平成三十年度分

田中 文敏
「南越雑話」輪読会
事務局(前田眞佐子)

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇101 2019.8 A4 4p

第17回飯田市地域史研究集会 飯田・下伊那の蚕糸業と地域社会

2019年9月7日(土)・8日(日)開催 7日(土)講演「日本蚕糸行の地域類型—長野と群馬の組合製糸を中心に—」石井寛治、講演「下伊那の蚕糸業と地域構造」田中雅孝、報告「天龍社の盛衰と蚕業技術員の機能」太田仙一、質疑応答・全体討論／8日(日)報告「飼うから始めるお蚕さまプロジェクト～阿智村全村博物館構想～」大石真紀子、報告「蚕種の保存に使われた天然の冷蔵庫・風穴」片桐一樹、報告「建物原簿史料から見る大正期の飯田町」福村任生、報告「戦地からの1014通の手紙—川路村の教師に届いた軍事郵便—」上河内陽子

史料展示コーナー 飯田・下伊那の蚕糸業と天龍社資料 ①蚕の生育過程一繭になるまでの道のり／②天龍社資料の世界 (1) 喬木村の豊かな桑園、(2) 蚕業技術員の作業ノート—蚕業技術員に関する資料から

特集 歴研と私 歴研の一員としての日々 土屋 敏美
地域史講座を開催しました
「豊川海軍工廠の天龍峡分工場—戦争末期の工場疎開と川路村」 原 英章

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1096 (67-9) 2019.9 A5 50p 550円

口絵 伊那谷の土葬の葬式 橋都 正
伊那谷研究団体協議会 第21回シンポジウム研究発表 伊那谷・次世代に伝えたいもの残したいもの その2—自然・文化・風土
松川町の天竜川河原に生息するツツザキヤマジノギク類について 堤 久
国指定古墳維持保全活動の課題
—飯沼天神塚(雲彩寺)古墳の事例から 古川 學
民俗芸能の宝庫である南信州で考える伝統文化の継承問題
—その継承の歴史をふり返るなかで 松上 清志
歌誌『夕樺』と下伊那青年運動(1) 清水 迪夫
竜西一貫水路の貫通について 原 次郎
下伊那日録(2014年4月～10月) 寺田 一雄
新刊紹介 笹本正治編著『古地図で楽しむ信州』 青木 隆幸
◇1097 (67-10) 2019.10 A5 50p 550円
口絵 地球のマントルが由来の蛇紋岩 坂本 正夫

「害獣」「益獣」について	宮下 稔
伊那谷におけるサワラ林の変遷	清水 岳志
美和ダム再開発土社バイパス施設の堆砂抑制効果と環境影響について	山上 和彦
天竜川流域唯一の特異な松川町の馬坂段丘	坂本 正夫
飯田市美術館自然展示室、30年目のリニューアル	四方圭一郎

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円
 ◇752 (63-9) 2019.9 A5 40p 500円
 「山の神」—伊那市 高遠町藤沢・平沢・野底福島トンネル 中崎 隆生
 このように近現代史を学んでいる
 —伊那市と上田小県地域の取り組み事例 山口 通之
 『官刻孝義録』と高遠城下豊後屋善兵衛 六波羅喜洋
 伊那市が取り組む古い地名調査(16) 竹松 亨
 古文書の窓(145) 生類憐みの令の話 三浦 孝美
 図説・上伊那の民俗(28) 上戸の振りまんど(伊那市西箕輪上戸) 三石 稔
 徒然さんば(2) 無量寺 吉田 勝美

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213
<http://www.shinano-shigakukai.jp>
 ◇836 (72-9) 2019.9 A5 80p 1150円
 鷹匠と鷹書制作(下)—諏訪藩の鷹匠伝来の新出資料を手掛かりに 二本松泰子
 飯田下伊那における明治初期の町村合併(下)
 —平田門人、森多平、地価軽減運動と関連づけながら 青木 隆幸
 中野市南大原遺跡にみる弥生時代の鉄器製作遺構 杉山 和徳
 『信長公記』における「天理本」の位置付けについて 武田 健作
 ◇837 (72-10) 2019.10 A5 80p 1150円
 河野齡蔵の植物調査、植物標本および執筆物に関する資料調査報告 松田貴子／小原稔
 古代の善光寺について考える(上) 石川 勝義
 前方後円墳造営後半期の大王墓の比定について 山中 鹿次
 研究ノート 波多判官代跡の中世 鎌田 宣之

◆千 曲 ふるさに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊

◇170 2019.9 A5 63p

追悼 長岡克衛先生

東信史学会三代会長 長岡克衛先生のご寂滅を哀惜する	櫻井 松夫
故長岡克衛先生を偲ぶ	石川 好一
長岡克衛先生の思い出	堀田 雄二
長岡克衛先生 略年譜	櫻井 松夫
上田城の創建と復興をめぐる(1)	寺島 隆史
上田市公文書館資料にみる地域史の一端	倉澤 正幸
東信史学会研修視察旅行 青森への旅(令和元年5月9日~10日)	山崎 雄三
地域の宝を考える 伝えるべきもの「私有の歴史の保存」	宮下 俊哉
窓 地域教材の活用への雑感	柳澤 哲
連載講座 古文書解読講座 第161回	斉藤 洋一
扉写真と解説 国宝級の刀 三寅剣	出浦 晃彦

◆長 野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇313 2019.8 A5 72p 800円

口絵・表紙解説 小林計一郎(本会前会長・創立者)の一茶関係の著書

一茶の宿泊日数を数え直す	小林 一郎
北信濃の俳諧を指導した小林迎祥(3)	小林 一郎
共和、川中島の両国民学校に駐屯した「水戸の工兵隊」について(1)	矢羽 勝幸
「善光寺七名物」はどう広まったか	土屋 光男
河東側の城館跡	小林竜太郎
郷土史の視界(14) 「聖衆来迎図」の読み方	馬場 廣幸
長野と全国各地の繋がり(11) 絵解きで繋がる富山と長野	小林 一郎
読んで歩いた長野(1) 芙美子の「戸隠山」	小林 玲子
長野郷土史研究会創立六十年、小林計一郎生誕百年記念行事報告	栢木 希望
出版 『北国街道柏原宿の本陣日記 一茶のふるさとを探る』信濃町郷土史研究会古文書勉強会編	小林竜太郎

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇273 2019.9 B5 8p

西天竜山寺水利組合の一年

中崎 隆生

第216回例会参加記

田澤 直人

北安曇郡池田町、松川村のオフネにかかわる祭礼(2)

二 池田町会染林中宇佐八幡宮の祭礼

臼井ひろみ

葉書でつぶやくコーナー

三体像道祖神碑—『長野県道祖神一覽』を読む(3)

倉石 忠彦

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇132 2019.9 B5 28p

子供向け郷土案内書『岐阜県ふるさと散歩』の刊行

古田 靖志

明治維新と大垣藩

清水 進

三筋の長良川にまつわるいくつかの事例について

黒田 隆志

夭折の医師：所郁太郎の医史学的考察

加藤 茂孝

書窓の風

西濃 先人を訪ねて

児玉 剛

郡上Ⅱ 郷土文化誌発行される

馬淵 旻修

飛騨 二つのノーベル物理学賞を生み出した、神岡鉱山の巨大空間

—『ひだ宇宙科学館カミオカラボ』オープン

茂住 修史

郷土関係新刊書目録(117)

郷土関係逐次刊行物文献目録(115)

静 岡 県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室

年4000円

◇492 2019.9 A4 4p 100円

会告 総会／総会記念講演会 趙景蓮氏(千葉大学文学部) 演題「朝

鮮史からみた近代移行期日本の国家と民衆」

9月例会レジュメ

亀戸事件の犠牲者平沢計七の生涯と大杉栄 大和田 茂
地域歴史資料の保存 菊川市上平川の区有文書の虫干し 清水 実
◇493 2019.10 A4 4p 100円

総会記念講演レジュメ

外から見た幕末維新期の日本—朝鮮通信使を中心に 趙 景達
北洲舎浜松支舎の設置—鷲山恭彦家文書調査だより 橋本 誠一

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇9 2019.9 A5 71p

今川義元の交通網整備 原田 千尋
中世「天野文書」の伝来経緯 天野 忍
総会記念講演 今川義元と織田信秀 平野 明夫
総会記録 第38回総会／例会記録 10月例会～7月例会

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇226 2019.9 B5 2p

会告 第39回総会 記念シンポジウム「近世・近代転換期における天
竜川沿岸地域と金原明善」 基調報告者：伴野文亮氏・渡辺尚志氏・
浅井良亮氏、コメンテーター：今村直樹氏
例会報告要旨 6月例会 三河松平氏家臣酒井政家の系譜と動向 小林輝久彦

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市長久区熱田1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇263 2019.8 A5 36p

令和の御代を迎えて 千秋 季頼
熱田雑集(19) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(20) 小久保雅広

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇232 (73-3) 2019.8 A5 106p 1500円

- 「洪川神社古絵図」の考察 中山 正秋
 『小川新九郎自叙伝』尾張之部注解 松井 雅文
 徳川宗春側室阿薫の出自 大野 健
 春日井市と名古屋市守山区等の狂俳文芸(6) 大野 哲夫
 愛知県初代警部長 菰野藩士阿川光裕 澤柳倫太郎
 名古屋における『テレビドラマ』の基礎的研究—中部日本放送 テレ
 ビ演出家・大脇明の仕事—補遺二 村上正樹／飯塚恵理人
 白壁町界限と陸軍第三師団長 名古屋城下処々(2) 小林 元
 太平洋戦争末期の想い出と戦後の軌跡 加藤 政雄
 第58回研究会発表要旨 尾州における伊勢御師の活動に関する一考察
 —新史料の紹介を軸として 千枝 大志
 第59回研究会発表要旨 江戸時代のジャーナリスト 猿猴庵と行く東
 海道の旅 猿猴庵の構想—『東街便覧図略』の骨組み 山本 祐子

◆日本教育史研究 日本教育史研究会

〒448-8542刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学教育学部 釜田史研究室

年4500円

◇38 2019.8 A5 171p 2000円

- 戦後改革期特設高等学校の研究(論評:羽田貴史・西山伸) 吉川 卓治
 海軍飛行予科練習生制度の成立とその教育史的展開—軍関係教育機関
 と中等教育機関の制度的関係に注目して(論評:野邑理栄子) 白岩 伸也
 論評をめぐって
 本誌第三七号掲載論文と論評について 世話人一同
 専門学校は訓令第一二号の対象なのか—拙稿「戦時下におけるキリ
 スト教神学校への統制」に対する論評の問題点 大島 宏
 課題と展望 戦後日本の教育方法論史の課題と展望 田中 耕治
 書 評
 大多和雅絵『戦後夜間中学校の歴史—学齢超過者の教育を受ける権
 利をめぐって』 大島 宏
 大島宏氏の書評に答えて 大多和雅絵
 工藤航平著『近世蔵書文化論 地域〈知〉の形成と社会』を読む 木村 政伸
 書評に答えて 工藤 航平

佐々木貴文著『近代日本の水産教育―「国境」に立つ漁業者の養成』
 を読んで―技術・職業教育学の視点から 坂口 謙一
 書評をを読んで 佐々木貴文
 久保富三夫著『教員自主研修法制の展開と改革への展望』をを読んで
 佐藤 幹男
 書評をを読んで 久保富三夫
 ニールス・ファンステーンバル著『〈孝子〉という表象―近世日本
 道徳文化史の試み』書評 鈴木 理恵
 近世「教化」史の再考―鈴木氏書評への応答として
 ニールス・ファンステーンバル
 梶山雅史編著『近・現代日本教育会史研究』をを読んで 米田 俊彦
 書評 米田俊彦氏の書評に込えて 梶山 雅史

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

◇603 (59-5) 2019.9 B5 8p 600円

表紙写真のことは 八朔太鼓踊り(メンドン)

鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島 旧8月1日2日 坂本 要
 山梨・大垣外獅子舞 石川 博司

菊にまつわる文化と伝承(6)

一法輪寺の重陽の節会と能「菊慈童」・能「枕慈童」を中心に 大森 恵子
 見学記・等覚寺の松会―平成31年4月21日 佐野 尚子

新刊紹介 『椎葉村尾向 秘境の歳月 山里生活誌』

尾前秀久著・須藤功編

滋 賀 県

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇126 2019.9 A4 6p

テーマ展 井伊家の茶の湯―伝来茶道具をめぐる10の物語―

大名物 宮王肩衝茶入 当館蔵

展示案内 テーマ展 霊の面 怨霊・亡霊・神霊―井伊家伝来の井伊
 家伝来能面から、テーマ展 殿様の本棚―それぞれの教養と趣味、
 テーマ展 井伊家の茶の湯―伝来茶道具をめぐる10の物語、テーマ

展 彦根藩井伊家の鷹狩り
コラム 文化財を守る―博物館資料の燻蒸
研究余録 金亀玉鶴 高宮出身の女性画家「秀蘭」

高木 文恵

京 都 府

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇898 (89-8) 2019.9 A5 30p 916円

五輪塔雑攷 比叡山悲田谷の「二石五輪塔」 加藤 繁生
古建築調査ノート(5) 唐破風、唐門、兎の毛通し 矢ヶ崎善太郎
第1052回例会 天理市の歴史を訪ねる 田中 康夫
第1057回例会 御上神社と野洲周辺の文化財 矢ヶ崎善太郎
第43回「石像美術勉強会」報告 大津市北部の神社と石造美術
幹事：品角阿止美氏・田中康夫氏 山根 祥司

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochimie/>

◇67 2019.9 A4 8p

第52回地名フォーラム報告 発表1「縄文アニミズムと人体語地名例
について―梅原猛先生を偲んで」永田良茂氏、報告2「環濠集落と
地名―南山城の場合」岩田貢氏
第53回地名フォーラム開催案内 発表 小寺慶昭氏「二つの許波多(こ
はた)神社」、講演 杉本宏氏「浄妙寺発掘と藤原道長墓」
京都地名研究会主催 2019年度第二回京都地名ウォーク テーマ「仏教
の祖師の道めぐり」案内：本会理事 小西宏之氏
新・地名ものがたり(3) 小町通り(上京区一条通堀川東入る) 野村 倫子
地名随想 祇園祭山鉦町が町名に山鉦名をつけない理由 小西 宏之
連載 梅原氏のアイヌ語論(1) 小寺 慶昭
会員出版物等・紹介 許藪作・梅山秀幸訳『海東野言』

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊
<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇78 (27-2) 2019.8 A4 4p

貸出教材キット&教材パネルのご紹介 現代(さいころくん)キット/
一五年戦争(慰問袋)キット/原子力と私たちの生活パネル

スリランカのお盆	西林 孝浩
ボランティアガイドコラム	山中 偉史
学生スタッフ活動記録 メディア資料室学生スタッフ編	張 玉 涵
遊心雑記 韓国の平和博物館のいま	安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204
年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇381 2019.9 B5 12p

駿河の塙団右衛門	廣田 浩治
土地台帳にみる土地利用(3) 土丸	井田 寿邦
熊野古道の旅(第25回)(後)	北山 理

新刊紹介 『没後六十周年記念誌 建築家・郷土史家 池田谷久吉の生涯』 池田谷胤昭編 池田谷恵美子出版

◇382 2019.10 B5 12p

泉佐野顕如伝説の実相―「鷲森田事記」により判明した真実	伊藤 良清
立石垂顚念典が生きた時代と人々(5)	
第三章 立石垂顚を取り巻く人々(1)	立石 元
室町幕府中枢の動きと和泉(16) 七 晴元政権の崩壊へ(続)	井田 寿邦
和泉の中世城郭(55)	井田 寿邦

新刊 地域の事典11 佐野町場の起こり、地域の事典12 吉田松陰の泉南遊歴、地域の事典13 従軍記3

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇422 (36-10) 2019.10 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(44) 天王寺七宮(3) 堀越神社	和久 敦也
令和元年度例会報告(第395回)	

「日本一古い金山・玉山金山」 松坂定徳氏 (報告・寺井)

令和元年度 第35回「大阪歴史懇談会定時総会」開催

会員の書評 『藩とは何か』―「江戸の泰平」はいかに誕生したか

(藤田達生著 中央公論新社)

評者・加藤照也

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇81 2019.8 A5 96p

記念公園 講談と大塩事件

旭堂 南海

大塩平八郎の太虚と譚詞同の以太(エーテル)について

一人為的秩序への公正無私の自然

森田 康夫

小特集 松浦木遊氏追悼

訃報 松浦木遊氏

久保 在久

松浦木遊氏を偲んで

上島 朱實

松浦木遊さんとの思い出

内田 正雄

松浦木遊氏長男・信輝氏よりの手紙

「酒井一文庫」の設置にあたって

藪田 貫

酒井一文庫史料目録

酒井一先生の日記

久保 在久

資料翻刻「難波美家解」(7)

大塩の乱関係資料を読む部会

会員だより 大塩事件研究会との出会い

山口五十二

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇838 2019.9 A4 10p 300円

伊勢参宮街道を訪ねて(6)―櫛田川「津留の渡し」を越えて

来村多加史

近代高槻における教育研究施設をめぐる

一京大附属農場・京大阿武山観測所・大阪医科大歴史資料館

川島 智生

◇839 2019.10 A4 12p 300円

世界遺産・法隆寺にみる日本建築のはじまり

矢ヶ崎善太郎

旧大和川を歩く(4)―大和川付け替えと中甚兵衛

安村 俊史

宇陀市の仏像―榛原地区

神田 雅章

松柏美術館開館25周年記念特別展案内 上村松園・上村松篁「日本画

の心」展～真善美を求めて

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084大阪府枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円

1995年創刊 <http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇96 2019.8 A5 64p 1500円

《前編集長 中村修氏追悼号》

巻頭言 元号と西暦、そして干支

上遠野浩一

特集 追悼 中村修さん(1)

中村さん、ありがとうございます。

市木 尚利

中村修さんを悼む

内田 正俊

逝去を悼む

尾関 章

中村氏への感謝

古藤 真平

中村修様の冥福を祈って

新藤 伸夫

追悼 中村修さん

高橋 明裕

中村修さんを偲ぶ

中井かをり

中村修さんを偲んで

平林 章仁

追悼 平成の荒波を漕ぎ抜かれた中村修さんと「古代史総括」

森岡 秀人

小休止・会員広場

アンデス通信(49) 「博物館」での活動について

市木 尚利

へそ曲がり「令和」考

山下 輝幸

新刊紹介

水谷千秋著『古代豪族と大王の謎』

上遠野浩一

平林章仁著『物部氏と石上神宮の古代史』

上遠野浩一

渡里恒信著『日本古代の歴史空間』

上遠野浩一

2018年・古代史総括

森岡 秀人

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇609 2019.9 B5 24p

8月・第670回例会の報告 撰津 尾崎城と城下町(寺町)を訪ねて

案内講師：赤川耕一氏 担当幹事：平川大輔・水品弘樹

報告・水品弘樹

「越後高田城」探訪

下岡 力

豊後岡城探訪記

川端 義憲

別冊 第671回例会 令和元年(2019)9月1日 近江 長浜城の堀跡など

をめぐる 担当幹事：木下修二・藤岡秀典

◇610 2019.10 B5 18p

9月・第671回例会の報告 近江 長浜城と堀跡などをめぐる

担当幹事：木下修二・藤岡秀典

報告・藤岡秀典

神奈川県の3城を訪ねて 相模三崎城・大庭城跡・岡崎城跡 坂本 昇
別冊 第672回例会 令和元年(2019)10月6日
丹波 八木城を訪ねて 担当幹事：小川実・下岡力

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇380 2019.9 B5 10p

豊中歴史同好会創立三十周年記念 シンポジウム 邪馬台国の実像に
迫る 基調講演 3 ニ・三成木倭国の実像 小山田宏一
四天王寺の亀形石造物 野田 昌夫

◇381 2019.10 B5 12p

豊中歴史同好会創立三十周年記念 シンポジウム 邪馬台国の実像に
迫る 基調講演 4 邪馬台国期における畿内の地域関係 福永 伸哉
読書室 『古墳時代政権の地方管理経営戦略』 藤田和尊

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付

1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇275 2019.8 A5 127p 900円

成立期鎌倉幕府と大河兼任の乱 大島 佳代
戦国期幕府家格と三好氏の書札礼 小久保嘉紀
「穴太記」の成立について 小谷 量子
わたしたちの文化財 京都盲啞院関係資料 地主 智彦
地域の歴史を守り伝える

「西誓寺文書」を中心とした部落史研究会ささやまの活動 今井 進
書評 中元崇智著『明治期の立憲政治と政党—自由党系の国家構想と
党史編纂』 真辺 美佐
新刊紹介

岡野友彦『源氏長者 武家政権の系譜』 下村周太郎
岩田真美・桐原健真編『カミとホトケの幕末維新一交錯する宗教世
界』 佐藤 顕
報 告

「旧陸軍墓地補修費の予算拡充に関する見解」の公表にあたって 大阪歴史学会
ピースおおさかの展示リニューアル問題 続報17 実行委員
宮内庁書陵部との懇談(2019年度) 企画委員会

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊

◇77 2019.8 B5 61p

近世の禪宗様三手先組物の形態

城光寺文章

御家人 安東蓮聖について

八田 洋子

「満所(マンショ)」とは誰か

ーキリシタン墓碑からみた河内のキリシタン世界

小林 義孝

壇上積式の反花座報告とその様式の展開について

篠原 良吉

堂内祭祀の小仏塔(宝塔・多宝塔・五輪塔)ー小仏塔の世界(5)

田村 信成

編集後記ーキリシタン考古学の地平

小林 義孝

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内
TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
<http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇33 2019.8 B5 71p 1300円

表紙のことは 石見神楽「大蛇」 表紙写真：白須一信氏

玉山金山(13)

松坂 定徳

中世東アジア世界を考える

片倉 穰

石見吉川家十一代目 吉川和泉守経實(2)

田村 紘一

乱世を生きぬいた中川瀬兵衛尉清秀

安居 隆行

善信尼と尼僧の百済留学

磯崎 素子

現代史観に於ける労働協約の法構造を検証する

小林 司

礼と女帝評価論(2)ーみまき(御槓)のみかどのみよ

岩谷 隆行

バルトの国々

夏原 君代

明治の旅日記を読むー肥後熊本から東京・日光へ(6)

寺井 正文

五階百貨店

和久 敦也

思い出の記(3)

片倉 穰

コラム 独り言つ「顔の中の顔」

文・写真 井川光正

兵 庫 県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇69 2019.8 B5 8p

NHK大河ドラマ「いだてん」を応援しています 馬原 浩一
家系研究協議会 令和元年度 総会及び春の例会報告 春の例会「作
られた井伊家系図—中世から幕末まで—」 野田浩子氏 (馬原)
書評 今回も二冊の本を読み比べてみました… 『将門伝説の歴史』
樋口州男著 吉川弘文館 2015年、『平将門と天慶の乱』乃至政彦
著 講談社現代新書 2019年 加藤 照也

◆**摂播歴史研究** 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇79・80 2019.8 B5 10p

「伊勢信仰の盛行」の一例証 『佐保講』の成立について 神崎 壽福
國恩祭の創祀時期について 關口 洋介

◆**西宮文化協会会報**

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇618 2019.9 B5 8p

西宮の洋画家 辻愛造(2) 枝松 亜子
西宮文化協会七月行事、岡本三千代先生、犬養万葉記念館館長、大い
に語る 江崎健一郎
会員活動報告 外国留学生に「おこしや祭」を紹介 山本 純子

◇619 2019.10 B5 8p

「コシノヒロコ ファッションショー GET YOUR STYLE !!」
出演裏話 小野 篁
エビスカキ道中記(5)—北海道篇 苫小牧恵比須神社から 武地 秀実
会員活動報告 京都嵯峨嵐山「斎宮行列」の「平安絵巻」 中村宏／山本純子

◆**歴史と神戸** 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊

◇335 (58-4) 2019.8 A5 49p 600円

《特集 ひょうご近代史再考》
資料紹介 有馬郡の古写真について 村上 忠男
明治初年の神戸における外国人妾について—「つる一件」から 人見佐知子
旧有馬郡・旧美囊郡東部域の西宮金次郎像(上) 上垣 正明

国宝姫路城関連生産遺跡 増位山・広嶺山系の石切丁場跡
新聞新聞地域版を読む

増田 行雄

神戸新聞の文化財記事(2014年7月30日～8月1日)

大国正美／有吉康徳

和歌山県

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会

〒642-0014海南市小野田1221-1 前田敬彦方 1998年創刊

◇22 2019.8 B5 84p 2000円

〈小特集 紀州の近世城郭〉

和歌山城・田辺城・新宮城の特長と意義

水島 大二

空閑地の配置からみた和歌山城の特質

一扇の芝の形成とその運用をめぐる

新谷 和之

考古学からみた和歌山城二の丸西部

一史跡和歌山城第31～38次発掘調査の概要

北野 隆亮

田辺城の歴史について

堀 純一郎

新宮城と城下町一近年の発掘調査成果から

小林 高太

和歌山県内の旧石器時代遺跡におけるA T降灰層準の探求

中原 正光

直弧文の彫り方の分類について一和歌山市鳴神Ⅱ遺跡と田屋遺跡から

出土した直弧文の観察を通して

井上 一樹

太田城成立に関する一試案

大木 要

資料紹介

和歌山県内で採集した旧石器新資料Ⅲ

北村 純治

平見遺跡出土の土器について

中村 貞史

相方遺跡出土の石見型埴輪

河内 一浩

和歌山県の考古学関係文献目録(2018年)

事務局

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0004田辺市上万呂549-3 浅里耕一郎方 TEL0739-25-3794

年2000円 1985年創刊

◇59 2019.8 B5 16p

特集 紀南の河川と地名

悠久の歴史を語る熊野川

田中 弘倫

筏流しと日高川 佐井の鳴滝、山路の栓皮滝という地名について

玉置 芳男

川の付く地名

木村 甫

続 勝浦沖秋刀魚遭難一紀州舟の碑文について

吹揚 克之

表紙写真説明 熊野川を遡る「団平」と呼ばれる川船

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課

TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇32 2019.9 B5 4p

紀伊国田仲荘を歩く一辻邦生『西行花伝』に触れて 半田 美永
熊野比丘尼の絵解き文化再興 長野市立博物館 第62回特別展示「神
と仏が宿る里—北信濃の山寺」

島根県

◆郷土石見

〒697-0017浜田市原井町1023-9 森脇晋平方 1976年創刊

◇111 2019.8 A5 132p 1200円

表紙写真 瑞穂ハンザケ自然館 (邑智郡邑南町上亀谷)

文・伊東明洋／写真・瑞穂ハンザケ自然館

石見の古代史を海から探る(2)—スサノオの紀ノ国渡海説を検証する 児島 俊平
柿本人麻呂と万葉集(7)—その歴史学的考察 安達 肇
石東安濃郡における米作・麦作の近代史(4) 池田 誠一
海洋学者・丸川久俊の研究を読む(5)—本邦初の塩分測定 森脇 晋平
石見地方東部農村における戦後の民俗(3) 長尾 英明
島根県水産試験場 八十島四世乗船記 鈴木 博也
方言で読む民話 三隅編(4) 神本 晃
文芸 三隅与一物語 岩田 昇
町から村から

郷里点描(8)—鎌手村大浜の神社の舞と青年団 田中 寿朗

卍の里—江津市桜江町の地景形成 森下 武俊

『長沢郷 鷗外文庫だより』45号(終刊号)に思う 高田 頼昌

第一回「大元・石見神楽調査研究賞」優秀賞受賞作

演目「塵輪」における石見神楽とその伝播地域の比較研究 柿出 浩輔

◆島根半島四十二浦巡り 島根半島四十二浦巡り再発見研究会

<http://42ura.jp>

◇23 2019.7 A4 16p

《故関和彦研究座長追悼特集》

関和彦先生を偲んで
 島根半島四十二浦巡りについて
 歴史の旅人 関和彦先生を偲ぶ
 関和彦先生をしのんで
 「風土記を訪ねる会」を二十年御指導戴いて
 心に活かす伝説の声
 古代出雲の時空を旅する詩魂
 一枚の絵画
 関和彦先生追悼 八王子FMラジオ収録
 関和彦先生を偲んで
 アルバム
 私と島根半島
 関和彦先生を悼む
 尋(と)めゆきやまぬ心
 関和彦先生を悼む
 浦々の一つ一つが本当に可愛いんだよね！
 忘れ難い島前の旅—今も切ない二人との別れ
 潮汲み巡りて四十二浦(中)

飯塚 大幸
 大谷めぐみ
 小村恵美子
 川島芙美子
 板垣 麻美
 信原 俊彦
 片桐 晴夫
 Ritsuko(遠藤律子)
 吉山 治
 佐藤亜紀子
 石橋 直之
 千家 統子
 酒井 董美
 貴谷 麻以
 山本 弘
 三代 隆司



* 島根半島四十二浦巡りとは、古来島根半島に伝わる、四十二の海岸(浦)で汐汲みしながら神社を巡る信仰習俗のことで、始まりは分からないが、江戸時代には盛んに行われていたとのことである。神社だけを回る巡礼は他に余り例がないのではなかろうか。

この習俗は地元でも殆ど忘れられていたが、2009年に古代出雲史研究者で、『「出雲国風土記」註論』(明石書店、2006)の著者である関和彦氏が、2009年に島根県立図書館で行った講演「一畑薬師への旅—四十二浦の浦々」で、「四十二浦巡りは島根県にとって大きな文化財産であり、浦巡りが今日に復活することを願

う」(飯塚大幸「関和彦先生を偲んで」)と呼びかけたことで有志が集い、島根半島四十二浦巡り再発見研究会の結成に到ったものである。

関氏はその座長を務め、2015年には同氏監修でガイドブック『島根半島四十二浦巡りの旅』を刊行、巡礼者も増加し、当該自治体では関連した地域振興政策を立ち上げるなど、地域起こしに大きく寄与するまでになっていた。

関氏の72歳という若さでの突然の死は地元には大きな衝撃をもたらした。その損失は計り知れず大きい。追悼特集に寄せられた文章を読めば、この地を愛した同氏の熱い思いは、その人懐こい人柄と共に確実に伝わっており、「調査研究、魅力発信、地域振興への活動」(飯塚「同前」)は必ずや継承されていくものと信じられる。

岡山県

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156

年1500円 1986年創刊

<http://homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm>

◇148 2019.8 B5 32p

特集 西日本豪雨災害と歴史資料(2)

平成三〇年七月豪雨災害からの公文書処置の経緯 山本 太郎

豪雨災害を体験して 浅野 笑子

岡山県文化財等救済ネットワークの活動について 内池 英樹

平成30年7月西日本豪雨災害における西日本豪雨災害「大切なもの」

無償応急処置出来る事を出来るだけチーム 斎藤久美子

泥の中から80年前の音楽を救出—倉敷・真備の水没レコード 小松原 貢

浦上家宿老、島村氏の研究(1)—浦上政宗・村景の時代 島村 豊

歴史談話室 倉敷市歴史資料整備室・令和元年度史料展示会「真備の

記憶—写真と資料でたどる」が開かれました (K)

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇155 2019.9 A5 14p

旭川放水路事業の完成を迎えて 横林 直樹

邦楽 今と昔 石村 勝治

岡山の人物(94) 仁木永祐 田中 美穂

岡山の自然(150) 青龍寺のアテツマンサク	白石 祐司
岡山の文化財(150) 旧第六高等学校	
正門、石積み、東・西倉庫、柔道場	後神 泉
わが町・わが村の自慢	
第二郷土美術館 夢二生家記念館・少年山荘(瀬戸内市邑久町)	
ふるさとの思い出	
一八八センチメートル反射望遠鏡(浅口市鴨方町、小田軍矢掛町)	泉浦 秀行
会員日より 下津井を歩く	國富 和夫

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇209 2019.9 A4 16p

渡辺越中守幸について	田口 義之
田口義之の備後山城50選(34) 備後和智氏の拠点 南天山城跡	
研究レポート	
神辺城の惣構を考える(1)一地形から見た神辺城下の構造	瀬良 泰三
ワンショット・レポート「城下ゆかりの地散策」ワークショップ	
近世福山の歴史講座 水野時代城下の寺社 第六部 城下の神社	高木 康彦
調査報告 中世石造物の調査報告	
辻堂百景(20) 福山市本庄町「二股の四ツ堂」	秋山 由実
備後史談 「辻の堂」瓦葺き替え修理	曾我部 光
辻の堂境内にあった「生年の松」『大津野村誌』より	
大分便り ヘイ・ユー何処	後藤 匡史
郷土探訪 県内の動物などの供養碑について	岡田宏一郎

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇92 2019.8 A5 124p 700円

第93回現地研究会

報告 中国山地・加計 山と暮らしを訪ねて	岡崎 環
レクチャー 長尾神社	佐々木盛良
見学 吉水園	栗栖 一正
見学 温井ダム	中江 兼二

見学 戸河内剝物	横島 文夫
参加記 温井ダムと安芸太田町を訪ねて	石川 律子
参加記 安芸太田町探訪記 中国山地と太田川	松井 卓子
安芸太田町長尾神社の絵馬	菅 信博
「宮島の鹿猿」考	千葉 孝嗣
広島県における管弦祭の研究 I	
宮島巖島神社と瀬戸内海沿岸地域の管弦祭	大久保聖子
三次市甲奴町須佐神社及び的弓祭の歴史と絵巻物	伯江 勝
コラム 尾道石工 大村喜兵衛	

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 Tel.0824-44-2753
1987年創刊

◇109 2019.8 A4 10p

三次市立図書館と往来本	有光 七重
史料紹介 養蚕頼母子規約(大正十二年)	立畑 春夫
平成三十一年度総会記念講演「浅野氏と浅野長治の三次藩分知について」講師：西村晃氏	
三次盆地の前方後円墳(17) 国広山第三号古墳—調査報告	加藤 光臣
「奉公人請状」について	中畑 和彦

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇342 2019.9 B5 12p

今月の各地 日本遺産認定に思う	宮原 幸司
三原遠野氏の支配(2) 三原浅野氏の歴代(つづき)	橋本 敬一
秋のバス研修旅行案内 因島の史跡巡り	西村 雅幸

◇343 2019.10 B5 12p

今月の各地 17年前の郷土史	正兼 鐵雄
三原遠野氏の支配(3)	橋本 敬一
五輪原の主は？(完結編)	大谷 和弘

山 口 県

◆山口県文化財 山口県文化財愛護協会

〒753-8501山口市滝町1-1 山口県教育庁社会教育・文化財課内

TEL083-933-4666 1971年創刊

◇50 2019.9 B5 40p

特集 山口県の台場

下関市所在の国指定・市指定の台場—国史跡長州藩下関前田台場跡、
市史跡肥中台場跡・泊ヶ鼻の台場・涌田青井の台場、外 中原 周一
萩市指定史跡 菊ヶ浜土塁(女台場)について 西川 雄大
室積台場(光市指定史跡) 河原 剛
泊台場跡(長門市指定史跡) 大嶧 聡

文化財トピックス

周防祖生の柱松 藤本 昌範
本郷山崎遺跡・本郷遺跡の発掘調査 岩崎 仁志

新指定・選定・登録の文化財

国指定 勝山御殿跡
県登録 萩焼(追加指定) 大和祐二・新庄貞嗣
赤間硯(追加認定) 日枝敏夫
国登録 国登録有形文化財(建造物) 赤間神宮水天門及び回廊、国
登録有形文化財(建造物) 白石家住宅主屋・白石家住宅呉服蔵・
白石家住宅道具蔵及び食物蔵、国登録有形文化財(建造物) 松室
大橋

市町新指定文化財一覧／国及び県指定文化財一覧／市町指定文化財件
数一覧／令和元年度国庫補助事業一覧

表紙説明 下関市指定史跡肥中台場跡

口絵 勝山御殿山(下関市田倉町 平成30年度国指定史跡)

徳島県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊 <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇116 2019.9 A4 8p

60年前にうまれた博物館 植地 岳彦
Culture Club

本当に同じ種?～ナガレホトケドジョウにみられる種内変異 井藤 大樹
特別陳列 博物館60周年記念展 とくしまタイムトラベル—過去・現
在・未来

収蔵品紹介 ヌマコダキガイ類の化石 中尾 賢一

情報BOX 植物を赤く光らせよう

小川 誠

レファレンスQ&A 「だらだら祭り」と呼ばれる祭があると聞きま
したが、なぜそう呼ぶようになったのですか？

磯本 宏紀

愛媛県

◆遺跡 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

1968年創刊

◇52 2019.8 A4 364p 2000円

《特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器》

特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器

東予東部の縄文・弥生時代の石器

正岡 陸夫

道後平野南部の縄文・弥生時代の石器

十亀 幸雄

愛媛県縄文・弥生時代の石器出土一覧表(前)

遺跡発行会

2017年度共同研究

松山市小竹6・7号墳の墳丘測量報告

遺跡発行会

浅海小竹6・7号墳の現況と研究史

正岡 陸夫

松山市小竹6・7号墳について

河原 茂

松山市小竹6・7号墳採集の須恵器について

清水 真一

浅海小竹6号墳出土の鐘形鏡板について

名本二六雄

2018年度共同研究

松山市小竹3号墳の墳丘測量報告

遺跡発行会

小竹1号墳から3号墳について

正岡 陸夫

松山市小竹3号墳1号石室の天井石の石種

奥田 尚

松山市小竹3号墳の赤色顔料について

河野摩耶／南武志

松山市小竹古墳群と小竹石切場

十亀 幸雄

愛媛県の漢式鏡(6) 三角縁神獸鏡以前

名本二六雄

考古学からみた松前町

名本二六雄

西条市古田出土の磨製石剣 付・東予西部の関連磨製石剣

正岡 陸夫

東宮山裾の箱式石棺

正岡 陸夫

今治市波方町玉生八幡神社裏山採集の須恵器

森 毅

今治市西高等学校保管資料(須恵器)

正岡 陸夫

今治市西高等学校保管資料(須恵器補遺)

森 毅

橋本幸男さん撮影の写真—西条市後谷古墳の短甲

正岡 陸夫

新居浜平野の主要古墳

正岡 陸夫

今治平野の前方後円墳とされた「古墳」	正岡 睦夫
河野水天宮に祀る石造物	河原 茂
道後平野における近世有石工銘石造物	日山 貞治
伊予の中近世石造物の石幢と其の特徴	奥田 尚
伊予における凝灰岩製宝塔(3) 北条平野と其の周辺の凝灰岩製宝塔	十亀 幸雄
伊予の石切場―道後平野海岸部と周辺島嶼部の近世花崗岩石切場	十亀 幸雄
『いせきニュースレター』目次(第99号～第128号)	

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇131 2019.9 A4 24p

四国中央市の古墳(11) 東宮山古墳(上)	正岡 睦夫
伊予の近世石工(2)	

中谷元右衛門と伊予の近世有石工銘石造物一覧 十亀 幸雄

◇132 2019.10 A4 28p

四国中央市の古墳(12) 東宮山古墳(下)	正岡 睦夫
松山市浅海における緑泥片岩使用の箱式石棺(上)	

宮ヶ谷古墳・高山古墳の調査 河原茂/正岡睦夫

伊予の修験寺院宝冠寺遺跡(7)

宝冠寺中世墓地の終焉と近世墓地の出現 十亀 幸雄

考古学からみた伊予の護符(4) 宇和島城天守閣の矢形木製品 十亀 幸雄

福岡県

◆福岡地方史研究 福岡地方史研究会(発売:花乱社)

〒811-2113糟谷郡須恵町須恵820-2 石瀧豊美方 TEL092-933-0426 年5000円

1964年創刊 <http://karansha.com/tihoshikenkyu1.html>

◇57 2019.9 A5 166p 1500円

《特集 東アジアの中の福岡・博多Ⅲ》

絵葉書でたどる福岡の歴史(18) 絵葉書帳と写真帳 石瀧 豊美

巻頭言 『昭和天皇実録』と『明治天皇紀』 石瀧 豊美

特集にあたって

講演 名島・雁ノ巣飛行場と福岡市 柴多 一雄

幻のオリンピック・ガネフォ 浦辺 登

前畑遺跡(筑紫野市)と大宰府防衛 元寇に備える防衛拠点侍島の考察
鷺山 智英

間違えられた家老の写真と福岡藩の秘密神事・鎮火祭火魔封火打釘 在野の碩学・中島利一郎	大林 憲司
「令和」改元を機に「光文事件」をふりかえる 一～三世紀の倭人と倭種について 「魏志倭人伝」を読む 百濟紀行(上) 日韓交流の記憶を求めて 筑前筑後肥前肥後探索書・讃岐伊予土佐阿波探索書について 書誌学的考察と描画法の分析から	石瀧 豊美 中村 修身 師岡司加幸
福岡藩馬廻組百三十石杉山家の幕末維新 幕末佐賀藩におけるアームストロング砲の正造をめぐる(2) 田中久重と石黒直寛関係史料および文献からのアプローチ 古文書蒐集折々譚(3) 文禄堂二代目相浦安彦氏のこと 書評 偶発した事件ではなかった修猷館占拠 水崎雄文著『修猷館投 石事件—明治二十四年、中学校と軍隊の衝突』	西田 博 坂上 知之 河本 信雄 宮 徹男
本の紹介 丸山雍成『前近代日本の交通と社会—日本交通史への道 I』 ／宮地英敏『明治最大の政変劇の内幕 宮地英敏・思索の旅—明治 14年政変編』	師岡司加幸 石瀧 豊美

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇219 2019.9 B5 20p

佐賀県重要文化財 銅造如来坐像 唐津市山田4323 山田薬師堂

高麗時代(14世紀後半) 座高64センチメートル 『有浦文書』研究断片1 『有浦文書』一七「佐志浄覚拳讓状案」で見 る、七〇〇年ほど以前の値賀村のようすについて(下) 寺沢家臣津田十郎兵衛について 唐津藩農民の苦悩と間引き(密殺) 小笠原長行・長国の時代も赤子の 間引きは行われた(1)—小笠原時代の間引 唐津・発掘・発見の話(7) 増田調査員の瓢箪塚視察について 史料にみる 幕末小笠原時代の唐津藩(4) 歴史に忘れられた人—友常典膳覚書(5) 読み下し 『平松儀右衛門道中日記』(9)(最終回) 古文書史料の紹介 「石炭仕法並勤方一件」(水野家文書)	志佐 惲彦 青木 隆 寺沢 光世 中里 紀元 徳富 則久 山田 洋 田島 龍太 久我 圭子 濱口 尚美
---	---

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇92 2019.9 A4 8p

石の証言 群山南鮮電気会社 45×60cm、朝鮮鋳業会社 60×45cm

第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会報告 追立 敏弘

朗読劇で「戦争」を語り継ぐ「のりこ八歳」 土岐宗春／黒木憲夫

韓国民主化の史実をたどる 映画「1987」を訪ねるソウルの旅(2) 追立 敏弘

戦争の教訓？ 宮崎特攻基地跡・慰霊祭で弔銃！ アシユラ・ウンチュー・眞公

第27回ウォッチング「八紘一宇」の塔 「表現の不自由展・その後」

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊

◇234 2019.9 B5 8p

9月定例会レジュメ

西欧列強の沈没船遺跡と宮古島

片桐千亜紀

島尻の歴史を歩くー7月定例会を終えて

兼島 朋子

8月定例会、大雨の中決行

松川知恵／事務局

宮古島市総合博物館開館30周年記念

第35回企画展「みやん昆虫大集合」

與那覇史香

倭寇と宮古について

下地 和宏

令和元年度 地域の特徴ある埋蔵文化財公開活用事業

土器づくり体験(第一回)／土器の圧痕分析の体験(第二回)

久貝 弥嗣

案内 地域の特徴ある埋蔵文化財公開活用事業 第3回 稲村賢敷生

誕125年記念シンポジウム 海域アジアの倭寇について考える

久貝 弥嗣

『宮古毎日新聞六十年史』を読む

仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆開館三十周年記念 下野路を往く松尾芭蕉

大田原市黒羽芭蕉の館令和元年度企画展図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊 (〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151) 2019年10月 A4 62頁

『おくのほそ道』の旅から330年、大田原市黒羽芭蕉の館開館30周年を記念する黒羽芭蕉の館の令和元年度企画展の展示図録。松尾芭蕉(1644~94)の『おくのほそ道』(元禄2年<1689>)の旅において、最も長く滞在した黒羽地区を中心として、14点の初公開資料を含む87点の資料を通じて、芭蕉の旅と人々との交流の様子を紹介する。カラー図版 旅立ちから室の八島まで、例幣使街道から日光へ、かさねとの出会い、「那須の黒羽」長期滞在、黒羽出立と高久家滞在、殺生石と遊行柳、紀行の最高傑作『おくのほそ道』の軌跡／資料解説／下野路を往く松尾芭蕉(新井敦史)／参考文献

◆宇治の電車 京都の電車―「観光」の時代

宇治市歴史資料館編・刊 (〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2019年9月 A4 80頁

宇治市歴史資料館の特別展(2019年9月28日~12月1日)の図録。明治43年(1910)京阪電車、大正2年(1913)同宇治線、昭和3年(1928)奈良電車など、明治末期から昭和前期にかけて、次々と誕生した電車路線と沿線の観光名所にして、カラフルな沿線案内パンフレットやパノラマ写真地図、写真などにより紹介する。宇治の電車・京都の電車(京阪電車、京阪宇治線、男山ケーブル、京津電車・大津電車・坂本ケーブル、叡山電車・鞍馬電車、嵐山電車・愛宕電車、新京阪電車、奈良電車、京電・市電)／「観光」の時代(春夏秋、琵琶湖から宇治川ラインへ、宇治)／電車と観光 パンフレットコレクション／電車と観光の時代(志賀直哉と電車、宇治の螢、宇治菊人形、保勝会と宇治公園計画)

◆平成30年度京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(洛西編)

京都府立京都学・歴史館京都学推進課編 京都府立京都学・歴史館(〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29 TEL075-723-4835) 2019年9月 A4 296頁

『京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書』平成27年度 洛北編(2016年11月)、平成28年度 丹波編(2017年9月)、平成29年度 南山城編(2018年9月)に続く文化資源発掘プロジェクト第4弾「文化資源発掘プロジェクト」の報告書。序文／京都洛西地域の庭園文化(町田香)／清涼寺をめぐる二つの宗派(村山弘太郎)／中近世以降期洛西地域における中間層の動向について―中路氏を素材として(野田泰三)／江戸時代の文学遺品から見た洛西地域の文化―中路家旧蔵資料の紹介(朝比奈英夫)／洛西地域の総力戦体制―地域メディアとしての『神足月報』の役割を中心に(小林啓治)／古都京都の竹細工の科学によるブランド化と市場創生・放置竹林撲滅のための基礎的研究―洛西・乙訓地区を先端例に(古田裕三)／木鳥神社の歴史―木鳥神社・神服氏関係史料集成(鍛冶宏介)／洛西と王権―大原野社の位置づけから(中野渡俊治)

◆禁野火薬庫爆発遭難手記

枚方市教育委員会文化財課編・刊（〒573-1159 大阪府枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 文化財課市史資料室）2019年8月 A5 244頁

1939年(昭和14)3月1日に発生した通称「禁野火薬庫大爆発」の際、枚方に在住し被災した小野清彦氏の「爆発遭難手記」(小野欣哉氏所蔵、市史資料室寄託)と、同氏が収集した新聞記事のスクラップブック「昭和十四年三月一日枚方陸軍倉庫火災新聞記事」、及び市史資料室が補足して収集した新聞記事を収録する。第一部 爆発遭難手記(爆発遭難手記、爆発遭難後記、爆声人語)／第二部 爆発記事のスクラップ帳／第三部 その他の新聞記事(大阪朝日新聞、大阪毎日新聞、大阪時事新報、京都日出新聞、大阪朝日新聞(奈良版)、大阪毎日新聞(奈良版)、神戸新聞、福井新聞、東京朝日新聞)

◆後記

2020年2月16日の『朝日新聞』朝刊で、「国立博物館 なぜ今値上げ?」を読んだ。この4月から、東京国立博物館の一般料金が620円から1.6倍の1000円に、京都、奈良国立博物館は520円から700円、九州国立博物館は430円から700円に値上げされる。理由は、「コスト分析の結果」(独立行政法人・国立文化財機構 杉野剛理事)だが、背景には、「稼ぐ文化」を掲げる安倍政権が、博物館などを「文化観光拠点施設」と位置付ける法案を国会に提出していることがある。政府は「文化立国」を標榜するが、文化に投じる予算ははなはだお寒い現状にある。これに対して法政大学の金山喜昭教授(博物館学)は、「博物館は地域の文化を学ぶような、知的・情操的な教育など、金には換えられない機能を持っている」「基礎的なコストなどは基本的に国が面倒をみるべきだ」と反論する。全く同感だ。博物館は、「博物館法」で「社会教育法」の精神に基づく施設であり、教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とすると定義している。突き詰めれば憲法の基本的人権に行き当たる。文化に金を投じない国は、心まで貧しい国であると言わざるを得ない。(飯澤)

地方史情報 142 2020年(令和2年)3月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。